

# ドクターQ

## 速硬性 プレミックスモルタル

### 工期短縮・緊急施工

ドクターQシリーズは、特殊速硬性セメントをベースに、用途に応じて珪砂・特殊骨材・繊維及び混和剤を調合した速硬性プレミックスモルタルです。施工箇所、塗厚及び使用目的等の条件に合わせて、製品を選択してください。

### 特長

#### ● 硬化が速く、高強度が得られます。

常温では、約3時間で歩行が可能です。また、硬化後約4～5時間（20℃の場合）で塗装可能な含水比（5%以下）となります。

※塗床など、接着強度が必要な仕上げを行う際はお問合せください。

#### ● 作業性に優れ、現場管理が容易です。

コテ切れが良く施工後の養生も短時間で済みます。

#### ● 品質が安定しており、諸物性に優れています。

既調合品の為、品質が安定しており、規定量のアクリットと混練りすることにより、諸物性に優れたカチオン系の速硬性ポリマーセメントモルタルとなります。

※ハイパーポリマー-AE45、ポリマー-#1000で混練することでも速硬性ポリマーセメントモルタルとなります。

#### ● 各種工事に広く使用できます。

ドクターQシリーズとして、各種準備していますので、工事の内容に応じて、品種を選定できます。



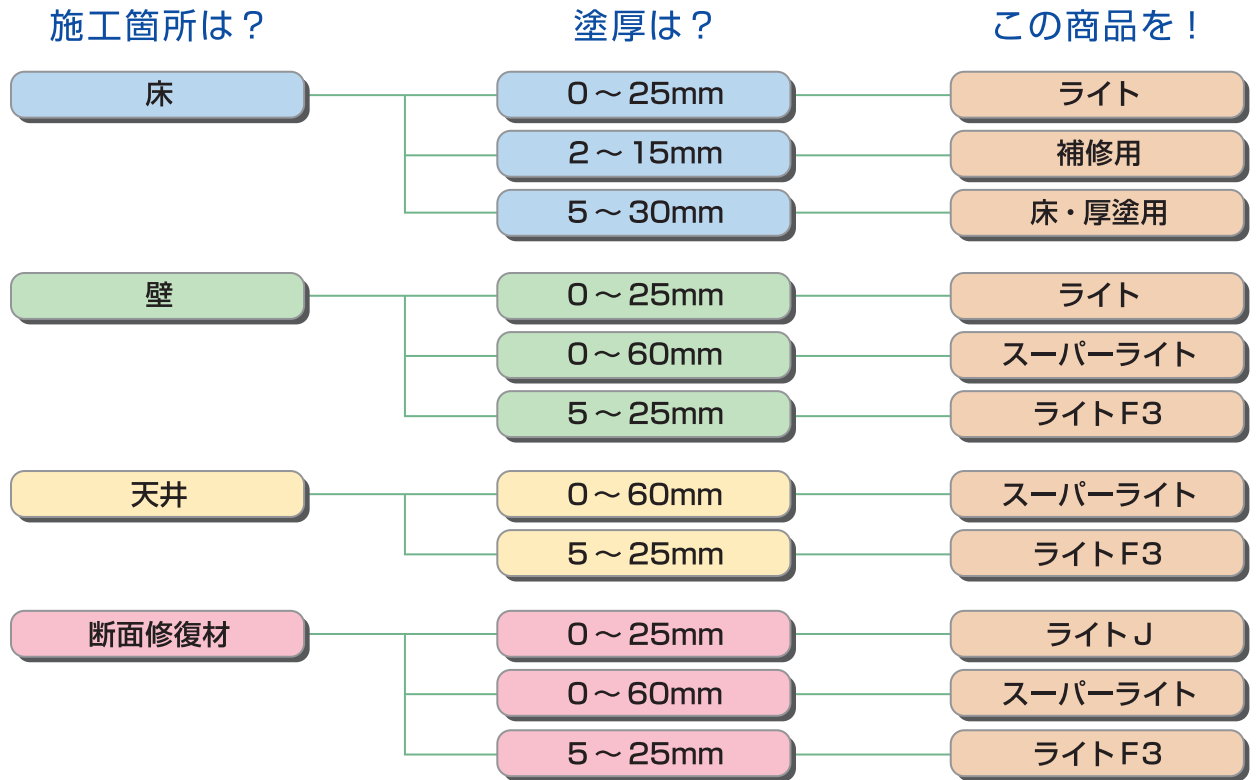
### 種類・荷姿・用途

種類	荷姿	硬化体比重 (kg/l)	用途	塗厚
補修用 〈重骨タイプ〉	20kg 袋	2.0	欠損部補修、不陸調整 ジャンカ・打継ぎ部補修等	1回の塗厚：2～15mm (床面)
床・厚塗用 〈重骨タイプ、ファイバー入り〉	20kg 袋	2.03	床・壁面厚塗り補修 金属柱固定等	1回の塗厚：5～30mm (床面)
ライト 〈軽量タイプ〉	15kg 袋	1.6	壁面欠損部補修、クラック補修 しごき補修等	1回の塗厚：0～25mm程度
ライトF3 ※受注生産品 〈軽量タイプ、ファイバー入り〉	15kg 袋	1.68	農業用水路改修 欠損部補修、断面修復	1回の塗厚：5～25mm程度
ライトJ ※受注生産品 〈軽量タイプ〉	15kg 袋	1.7	コンクリート片はく落防止対策 断面修復材	1回の塗厚：0～25mm程度
スーパーライト 〈超軽量タイプ、ファイバー入り〉	10kg 袋	1.32	天井・壁面欠損部補修 断面修復材	1回の塗厚：0～60mm程度

※ 各種とも標準型と促進型がございます。促進型は冬期以外、受注生産となります。

※ UR都市機構「速硬軽量モルタル」品質規格適合品 RLモルタル(ドクターQライト・混和液 / セット品)もございます。

# 商品選定フロー

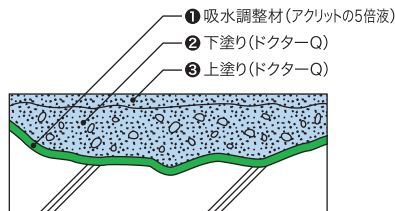


※ドクター-Q（ライト）を床面改修に使用する場合は、お問い合わせください。

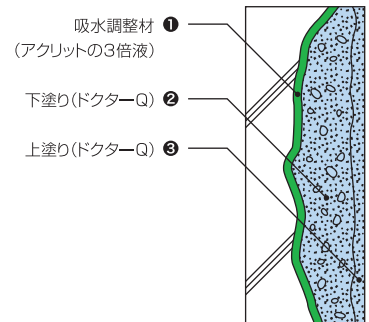
※壁・天井面で、塗厚が25mm以上の大きな欠損(300×300mm以上)では落下防止のため、ステンレスアンカーピン及びステンレス線を併用してください。

# 施工例の概念図

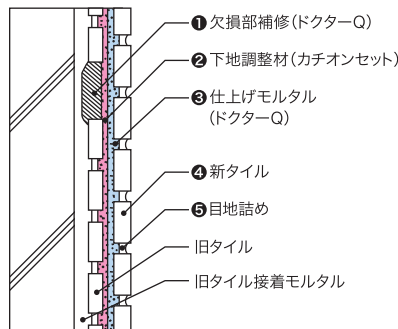
## 床面改修



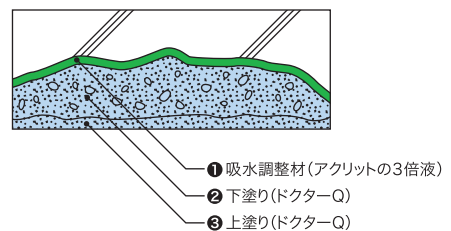
## 壁面改修



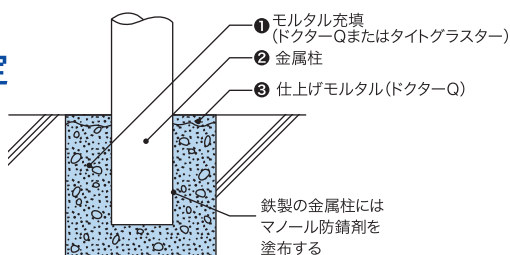
## 磁器タイル改修工法



## 天井面改修



## 金属柱固定



- 吸水調整材(プライマー)としてアクリットのほかハイパーポリマー-AE45、ポリマー-#1000も使用できます。
- 下地調整材としてカチオンセットのほかカチオンパウダーも使用できます。
- ドクター-Q

# 使用法

## 1. 下地処理

☆下地面のレイトンス、劣化部分、ほこり、油分、汚れ、付着物等はワイヤーブラシ、サンダー等で除去してください。

☆クラック部分及び著しい不陸箇所は、塗付け前に適切な処理を行ってください。

☆塗付け箇所には、吸水調整材(マノールアクリット又はマノールハイパーポリマーAE-45の3倍希釈液)を塗布するか又は下地の劣化状況に応じてPMエポプライマーN、マノールSBRボンドペースト等を塗布してください。

## 2. 混練 (標準調合)

種類	粉体 (kg)	混和液 (アクリット) (kg)	水 (kg)	混練方法 練上り量 (ℓ)
補修用 (1袋=20kg)	 20kg	+  0.9kg	+ 1:2  1.8kg	ハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 10ℓ
床・厚塗用 (1袋=20kg)	 20kg	+  0.9kg	+ 1:2  1.8kg	ハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 10ℓ
ライト (1袋=15kg)	 15kg	+  1.2kg	+ 1:2  2.4kg	ハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 12ℓ
ライト F3 (1袋=15kg)	 15kg	+  1.1kg	+ 1:2  2.2kg	ハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 10ℓ
ライト J (1袋=15kg)	 15kg	+  1.2kg	+ 1:2  2.4kg	ハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 10ℓ
スーパーライト (1袋=10kg)	 10kg	+  0.9~1.0kg	+ 1:2  1.8~2.0kg	ゴム手袋又はハンドミキサー等にて粉体とアクリットの希釈液を十分に練り混ぜる。 = 約 10ℓ

※混和剤としてアクリットのほか、ハイパーポリマーAE-45、ポリマー#1000も使用できます。

## 3. 塗り付け

- 1) 吸水調整材又はPMエポプライマーN、マノールSBRボンドペースト等を塗布後、混練りしたドクターQを鏝で圧力を加えて所定の厚みまで塗付け、平滑に仕上げてください。
- 2) 混練りしたモルタルは、可使時間内(約30分)に使い切ってください。
- 3) 2回以上の塗り重ねをする場合は、下地表面を櫛引き仕上げすることをお勧めします。

## 温度による可使用時間および硬化時間の目安

(標準調合による)

試験温度	標準型		促進型	
	可使用時間	硬化時間	可使用時間	硬化時間
30℃	約 10分	約 20分	約 2分	約 5分
20℃	約 20分	約 40分	約 10分	約 20分
10℃	約 45分	約 90分	約 20分	約 40分
5℃	約 60分	約 120分	約 30分	約 60分

※気温、水温、養生等の条件により硬化時間が異なります。

## 強さ試験

(標準調合による)

種類 (標準型)	圧縮強さ				曲げ強さ				接着強さ		
	3時間	1日	7日	28日	3時間	1日	7日	28日	1日	7日	28日
補修用	13.0	22.0	30.0	37.0	4.0	5.0	6.0	9.5	1.0	2.3	2.7
床・厚塗用	12.0	21.0	29.0	37.0	4.0	5.0	6.0	9.0	1.0	2.2	2.6
ライト	10.0	18.0	28.0	33.0	3.0	5.0	6.0	9.2	0.8	2.0	2.5
ライトF3	12.0	21.0	30.0	35.0	4.0	5.0	6.0	9.0	1.0	2.2	2.5
ライトJ	18.0	27.0	31.0	40.0	4.8	5.0	5.9	9.0	1.0	2.0	2.5
スーパーライト	10.0	15.0	20.0	28.0	2.5	3.0	4.0	5.0	0.7	1.8	2.0

※ 圧縮強さ、曲げ強さの試験方法は JIS R 5201、接着強さの試験方法は JIS A 1171 による。 ※ 単位:N/mm<sup>2</sup>

## 注意事項

### (施工上の注意)

- 現場での砂、セメント等の混入は、避けてください。
- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な養生を行ってください。
- 施工中及び施工後、降雨、降雪の予想される場合は施工を中止してください。
- 硬化時間は、水温、気温、保管状態により異なりますので、ご注意ください。

### (取扱い上の注意)

- 取扱い時は、必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用してください。
- 取扱い時は換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後は、使用した工具類を早めに水洗いしてください。

### (応急処置)

- ★ 目に入った場合：直ちに多量の水で洗眼し、医師の診断を受けてください。

- ★ 皮膚に付着した場合：直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ★ 誤飲した場合：多量の水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受けてください。

### (保管上の注意)

- 粉体は吸湿性が有りますので湿気厳禁で保管してください。
- 混和液は、直射日光を避けて保管してください。

### (その他の注意事項)

- 輸送時、落下、転倒、破損等がないように荷崩れの防止を行ってください。
  - 廃棄する場合は、都道府県条例に基づいて処理してください。
  - 粉体が混和した排水は、中和、希釈等を行ってください。
- 混和液は、海、河川、湖沼、池、下水等へ流入すると汚濁汚染することになるので絶対に破棄しないでください。



セメント混和・助材総合メーカー  
**株式会社 マノール**  
<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334  
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127  
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332  
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

## 特約店